

社会福祉法人 調布市社会福祉事業団

1 基本方針

調布市社会福祉事業団は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図る。

経営理念・経営方針を全職員が共有し、法人経営の両輪である障害福祉事業及び子育て支援事業に取り組み、地域福祉の推進に努める。

2 法人の現状と課題

国内経済では民間企業の好決算により収益は改善しているが、実質賃金の伸びが鈍く景気の本格回復には至っていない。

国による、消費税の配分方法変更は都市部の自治体の減収要因となるなど、引き続き厳しい状況が続いている。調布市においては、高齢化の進展もあり、社会保障・福祉関連予算は一般会計予算のほぼ2分の1に達する状況で、高齢化社会対策と保育園待機児の解消等の緊急課題に向けた対策がより強く求められている。

社会福祉法の改正による制度上の変更から2年目を迎え、事業運営の透明性の向上と地域における公益的な取組みへの参加を行うとともに福祉サービスの供給体制の整備に努める。

平成26年度に定めた中長期計画の第2期の2年目を迎え、障害福祉と子育て支援を事業の両輪として事業展開を行う計画に基づいた事業の推進に取り組む。

今後の事業展開により拡充が予測されるグループホーム関連事業を統合し、障害者地域生活サポートセンターすくらむとバックアップ施設の連携の強化を図る。

法人設立20周年を翌年に控え準備を進める。職員の専門性の向上と人材育成に努め、新たな事業の安定実施を図りたい。

3 重点項目

- (1) 障害者グループホームの開設をはじめとした中長期計画の推進
- (2) 障害児学童クラブの受託に向けた準備に取り組む
- (3) 地震等による大規模災害及びあらゆる事態を想定した防災対策の検討と備えの強化
- (4) 職員一人ひとりが虐待防止に努め、利用者サービスの向上が図れるよう各施設での実施体制の推進
- (5) 地域における公益的な取り組みへの参画
- (6) 法人設立20周年事業の企画立案